

学生団体Free!!!!について

INDEX

説明の流れ

- 01 ご協力をお願い
- 02 Free!!!!の活動方針
- 03 活動の流れ
- 04 立ち上げの経緯
- 05 これまでの活動



協力してくれる方募集中！

#大学に生理用品を

目標
20万円



宇都宮大学の
個室トイレに

協力企業募集

生理用品を常設したい！

宇都宮大学では、「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」にて済生会宇都宮病院様から提供された生理用品がトイレに配置されていますが、コロナ禍の困窮をきっかけにした事業のため、今年度で終了予定です。アンケート調査では、本学の約96%の学生が生理用品の配置継続を望んでいるという結果も出ており、学生の安心感に繋がっていることが分かっています。

私たちは、この取り組みを「地域や大学の協力を得ながら、来年度以降も継続していきたい!!」と思い、今回このプロジェクトを企画しました！地域・企業と一緒に取り組むことで、女性活躍を推進する企業の大学生への認知度向上や啓発に繋がっていきます。

継続希望
約96%

協賛をお願いします！

メール/電話にて協賛の旨をお伝えください。
お手続きについてご案内いたします。

宇都宮大学 地域デザイン科学部附属
地域デザインセンター

Mail : uu.crd@cc.utsunomiya-u.ac.jp

Tell : 028-689-6238

協賛：ひと口1万円~/生理用品(現物)の支援

- 生理用品設置の継続を望む理由は？

- 急に生理が来てしまった時に助かるから
- 意外と生理用品は高いので、一人暮らしの身からするとありがたいため
- パートナーが無償の生理用品に助けられると言っていたから (学生アンケートより抜粋)

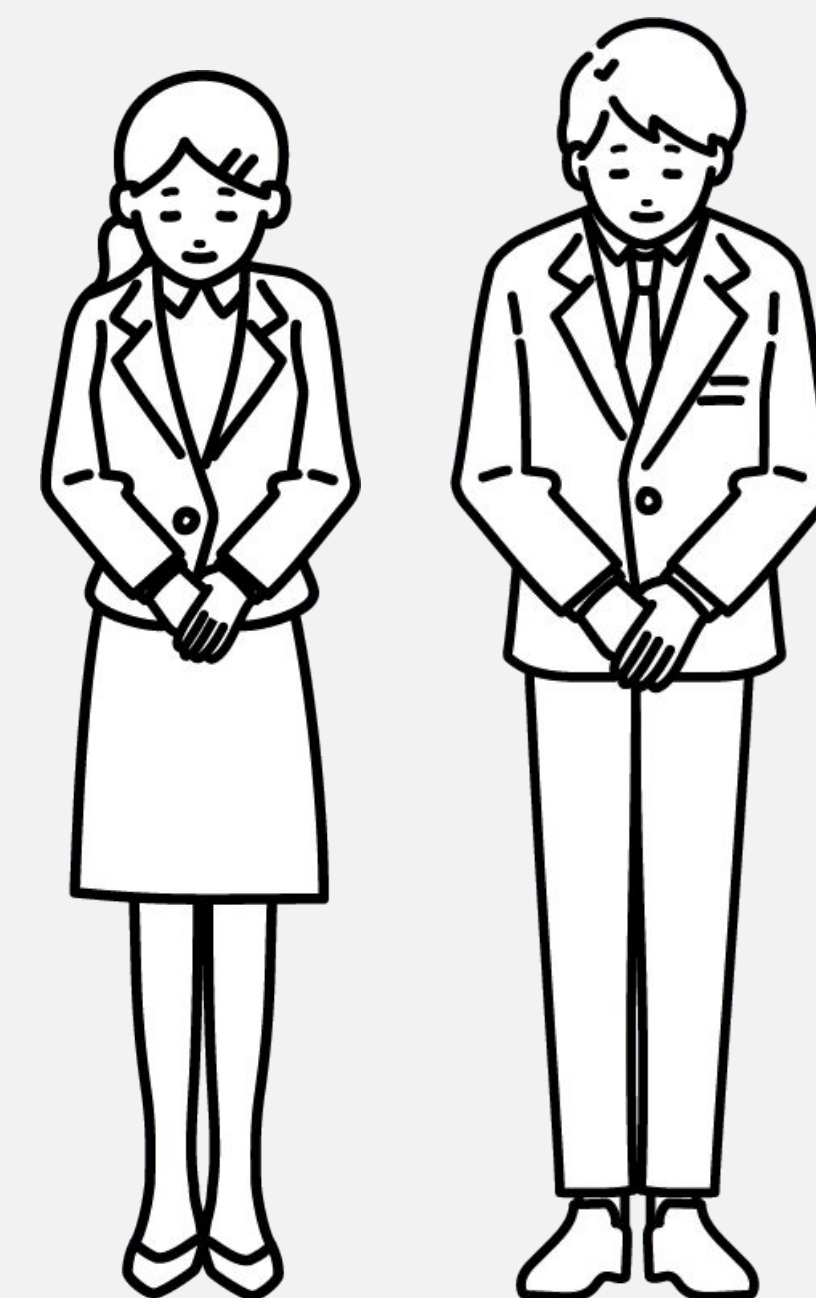
生理用品を常設するこの取り組みが「生理の貧困*」にも寄与できると考えています
*経済的な理由で生理用品を購入できない女性がいること

生理用品 常設までのステップ

- 1 協力企業の募集 **今ここ!**
▼ 協力頂ける地域の企業の方々より協賛を募り、生理用品の学内設置に向けて資金調達をします。現物での支援も受け付けています！目標金額は20万円！1年間分の学内設置用の生理用品が購入できる予定です。
- 2 生理用品の購入
▼ 昨年度までの利用頻度より、月1,300枚前後(年間16,000枚前後)用意予定。
- 3 生理用品のボックス作成
▼ 工学部や建築都市デザイン学科などの学生を募り、個室に設置する生理用品のボックスの設計・作成を行います。
- 4 協力企業の広告作成
▼ 協力頂いた企業の広告を生理用品のボックスに設置し、企業の知名度やイメージ向上へ繋がっていきます。
- 5 生理用品を個室トイレへ配置

「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」にて済生会宇都宮病院から提供されていた生理用品の配布が今年で終了してしまいます。

来年度も続けていきたいと考えていますので、皆様のご協力お待ちしております！



地域デザインセンターユースプロジェクト

〈実施主体〉

- 宇都宮大学 学生団体Free!!!!
- 宇都宮大学 地域デザインセンター
- 宇都宮大学 ダイバーシティ研究環境推進本部

企画者について

私たち学生団体Free!!!!は、これまで生理用品の無料配布や、ジェンダーに関するワークショップをダイバーシティ研究環境推進本部・地域デザインセンターと共に開催してきました。本企画においても、協力企業の募集から生理用品の個室設置まで、学生として主体的に取り組んでいきます！



②Free!!!!の活動方針

学び×話し合い×実践×学生

1 学び

Free!!!!では、実際に地域で話題になっている事柄や、社会的に注目されているテーマに対して学びの機会を提供していきたいと考えています。ここで扱うテーマは分野を決めたりはせずに、その都度Free!!!!が今設定すべきだと考えた事柄について学んでいきます。

2 話し合い

Step1にて学んだテーマに対して、そこでとどめることなく、自分の意見を互いに交換することで1人での学びでは得難い他の人の意見も持ち帰ってもらいます。そのため、Free!!!!が行うワークショップなどの活動の際には必ずディスカッションの時間を設けるようにしています。

①Free!!!!の活動方針

学び×話し合い×実践×学生

3 実践

step1、step2を通して得たものを実践に移すことで深みのある学びになることを目指します。学びから話し合いという流れはよく授業などでも使われています。Free!!!!では授業形式の学びでは終わらせずに、実際に行動に移すところまで含めて1つのプロジェクトとしています。

4 学生

主体・運営を学生が行うことで、参加の対象となる学生と似たアンテナでテーマを設定することができると思っています。また、教授や社会人といった大人の運営ではないため、運営と参加どちらもが学生であるため主体的に学び、発言、実践に移していけると考えています。

Free!!!! = 学び × 話し合い × 実践 × 学生

STEP1

学ぶ



話し合う

STEP2

実践する

STEP3

③活動の流れ

学び×話し合い×実践×学生

1

企画

中心メンバー(5名)

- 1 学ぶ
- 2 話し合う

2

プロジェクト メンバー決定

中心メンバー(5名)

Free!!!!メンバー(数名)

3

インプット

(ワークショップ等の開催)

プロジェクトメンバー

- 1 学ぶ
- 2 話し合う

4

アウトプット

プロジェクトメンバー

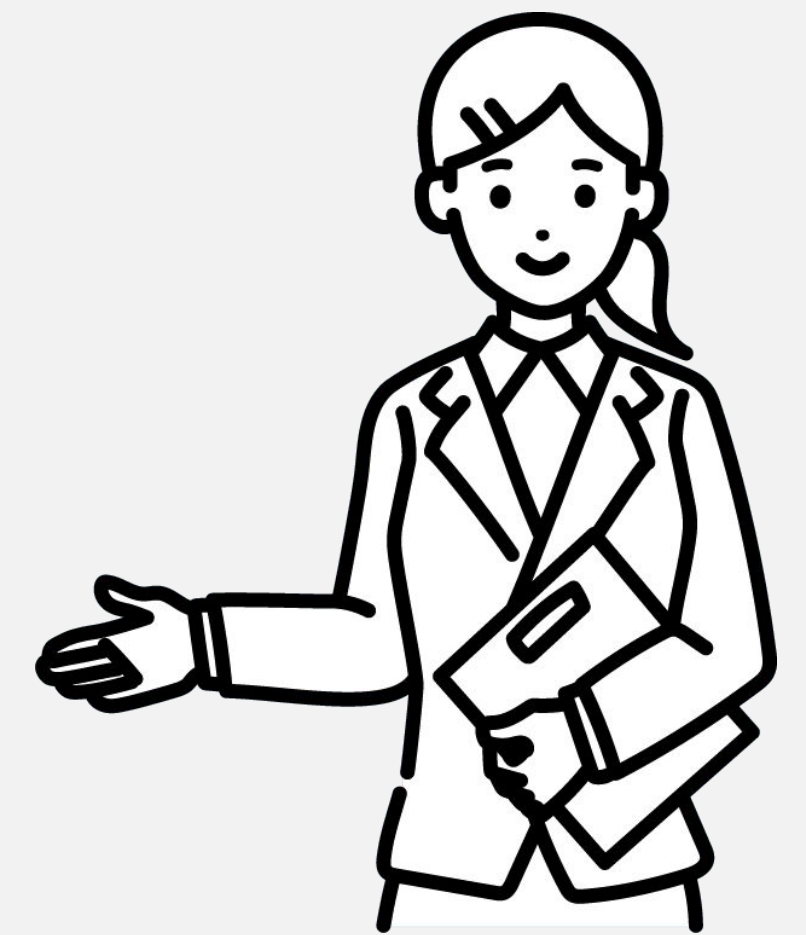
ワークショップ参加者(数名)

- 3 実践する

④立ち上げの経緯

最初の活動とそれに関わるその後の活動

- 1, 代表がワークショップ参加
- 2, ワークショップ開催を提案される
- 3, Free!!!!結成 ワークショップ開催に向けて
- 4, ワークショップ開催
- 5, ワークショップのその後



1, Free!!!!代表が生理の貧困に関するワークショップ参加

Free!!!!代表の保土沢が昨年宇都宮大学で行われたワークショップである「Time of the month.生理をとおしてみる社会」に参加する。このワークショップで宇都宮大学男女共同参画推進室の川面充子先生や地域デザインセンターと面識を持つ。

内容

- ・そもそも生理の貧困とは
- ・生理の貧困の背景にあるものとは
- ・実態として何が起きているのか
- ・私達にできることとは



開催趣旨
今年3月NHKが「学生の5人に1人が生理用品の入手に苦労している」など、「生理の貧困」が広がっている実態を報道して以降、この問題は急速に注目を集めるようになりました。なぜ、今「生理の貧困」が注目され、その背景に何があるのか。
本会では、議論を通して、生理の貧困を取り巻く様々な現状と課題について学び、学生の皆さんと一緒に社会課題解決の実践に繋がっていきます。

開催日時
11/19 Friday
16:00 - 18:00

16:00- 趣旨説明
地域デザインセンター 野原 康弘
16:10- 生理の貧困と社会的課題に関連する講義
男女共同参画推進室 川面 充子
栃木県済生会宇都宮病院 稲見 一美
(地域連携医療ソーシャルワーカー)

17:10- 休憩
17:20- 質疑応答・意見交換

募集定員
宇都宮大学在学生 20名程度(男女10名程度)

対面・オンライン (zoom) 開催
参加申込 URL: <https://forms.gle/Sjw0Livtq4RYumD8>
申込締切: 11/19 (金) 04:00 まで
(ZOOMのURL・会場は申込後にご案内します)

主催
宇都宮大学男女共同参画推進室
宇都宮大学地域デザイン学部附属
地域デザインセンター (地域デザイン研究会)

お問い合わせ
男女共同参画推進室
TEL: 090-490-1151
E-mail: gender@ccatsumomiyu.ac.jp
(※を@に置き換えてください)

2, ワークショップ開催を提案される

①

昨年の冬に地域デザインセンターに保土沢が「何かをやりたい！」という漠然とした相談をする。

②

丁度その頃、大学のトイレに生理用品の設置が検討されており、生理の貧困に対する学生のアイデアが求められていた。

③

そこで、これらに関するワークショップを開催してみないかと地域デザインセンターに持ちかけられる。

3, Free!!!!結成 ワークショップ開催に向けて

ワークショップ開催に向けて、保土沢が所属している地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科の学生に声をかけた。そこで集まったのがFree!!!!のメンバーとなった。



ワークショップの議題や、議論の方法、資料の作成などを行う。全員にとってイベントを自分たちで主催する初めての経験だったこともあり、地域デザインセンターに助けてもらいながら手探りで進めた。

4, ワークショップ開催

ジェンダーって何だろう？ ～生理の貧困について考える～

内容

- ・生理用ナプキンの機械設置に向けて設置に適した場所
- ・生理用ナプキンの配布方法について
- ・自身の生理についての見解や考え
- ・それぞれが興味を持つジェンダーに関わる社会問題
(LGBTQ、育休・産休、外国と日本の意識の違いなど)

地域デザイン科学部を中心に国際学部、農学部と幅広い学部生の参加があった。また、男性の参加者もあり、男性目線の意見も含めることができた。



開催日 2021年 12月23日(金)
参加者数 19名

4, ワークショップ開催



5, ワークショップのその後 ナプキン配布第1弾

配布するにあたり

- ・性別に関係なく配布する
- ・2つのキャンパス両方で配る
- ・チラシを作成して宇都宮大学生全員が利用してるアプリで連絡してもらう
- ・それほど目立たない場所で配布する

実施日 2022年1月19日

1月25日

合計配布数 259セット

性別に関係なく、欲しい人みんなに！

生理用品をお渡しします

宇都宮大学で生理用品を配布します
エコバック等をご持参ください

配布日	第1回目2022年1月19日(水曜日) 第2回目2022年1月25日(火曜日)
配布時間	11時50分~13時、15時~16時
配布場所	峰キャンパス5号館1階ミーティングルームI
配布物	生理用品 1セット=昼用3パック(1パック28枚入り)

無くなり次第終了となります。

家族が「欲しい!」と言っていた
彼女に渡してみよう!
こんなに理由も大歓迎!!
すごく助かる!!
そろそろナプキンがなくなりそう
お店で買うのは少し恥ずかしい

問合せ先 宇都宮大学男女共同参画推進室
e-mail: gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp ℡: 028-649-5151 (内線5151)
チラシ作成者: Free! (学生活動団体)
チラシ作成: Free! (学生自主活動団体)

↑作成したチラシ

5, ワークショップのその後 トイレサインを再考しよう！

経緯

「ジェンダーってなんだろう？」の参加者に、宇都宮大学公認団体の宇都宮大学LGBTs研究会にじみやに所属している方がおり、川面充子先生を通してワークショップの共同主催をお誘いいただいた。

内容

宇都宮大学に設置される"みんなのトイレ"に使われるトイレサインを考える。
いくつかのトイレサインを参考にしながらみんなが使いやすい・分かりやすいトイレサインについて考えた。

皆が使いやすいトイレって？

にじみや × free!!!!
主催

トイレサインを再考しよう！

内容：多目的トイレってどんな人が使うだろう？トイレのサインって何がいいんだろう？...
そんなことをみんなで考える2時間。あなたのアイデアを宇都宮大学に！

開催方法：全面オンライン（zoom） 共催：SMUA、ラーニングコモンズ学生スタッフ

2/14(月)
13:00~15:00
開催

お申込はこちらから！↓

QRコード

Twitter
-> にじみや @nijimiya
-> SMUA @SMUA_lgbts
-> ラーニング・コモンズ @Udai_L_commons

5, ワークショップのその後 ナプキン配布第2弾

配布するにあたり

- ・性別に関係なく配布する
- ・2つのキャンパス両方で配る
- ・チラシを作成してトイレに貼り周知する
- ・それほど目立たない場所で配布する

実施日	2023年1月16日 1月17日
合計配布数	約150セット

今回私たちが企画しました！



前回の生理用ナプキン配布に引き続き、今回も私たち学生団体Free!!!!が関わらせていただいています。生理の貧困のワークショップをきっかけに設立した私たちが、現在は分野を定めずに活動しています。

■プラットフォーム公開中！
様々なイベント情報やプロジェクトのメンバー募集などの情報をSlackにて共有しています！少しでも興味があれば右のQRコードから参加してみてください！
「見るだけ」「知るだけ」も歓迎です！



学生団体Free!!!! | 興味の輪を広げ
がくせいだんたい ふりー
「興味の輪を広げる」をテーマに、分野を限定せずに、チームによるプロジェクトを進めています。「学び×話し合い×実践×学生」というストーリーがあり、主体的な学びや実践までの実行がFree!!!!の活動の特徴です。



Now
現在・今後の活動

- ・高校生を対象にしたキャリア形成
- ・高齢者を対象にしたスマホ教室
- ・生理用ナプキンの機械設置
- ・自然体験プログラムの作成・運営

Past
過去の活動

- ・ジェンダーのワークショップ
- ・生理用ナプキンの配布
- ・トイレサインの検討
- ・ごみ削減のワークショップ
- ・子ども科学実験教室への参加
- ・子供の自然体験プログラム作成

2022年度



相談ブースもあります！
体調のことなど済生会の方に聞いてみたりお話ができます！

どんな人でも
欲しい方にお配りします。

3日間の開催！何回貰ってもOK！

生理用ナプキンを配布します

— 学校に来たついでに貰っていきませんか？ —

Day1		Day2	
1/16	Mon 12:00-13:30 16:00-17:00	1/17	Tue 12:00-13:30 16:00-17:00

陽東キャンパス：図書館 峰キャンパス：5号館1階

企画：学生団体Free!!!! 共催：男女共同参画推進室 協力：済生会

↑作成したチラシ

⑤その他の活動内容

宇都宮のごみ削減について 考えよう！ 行動しよう！

イベントの概要

2022年2月に宇都宮市のゴミ処理施設で火災が発生し、宇都宮市のゴミ焼却能力の約7割を喪失した。そのため燃えるゴミの削減が求められていた。このことを知り、宇都宮大学生が大学内でできること、宇都宮市でできることを考えるためのワークショップを開催した。そこでの内容を宇都宮市へ提案し実現までを目指した。



申込フォームはこちら

もう他人じゃ済まされない！！
宇都宮のごみ削減について
考えよう！ 行動しよう！

開催日時 2022年4月25日（月）16時～18時
会場 対面開催（会場は申込み後にご案内します）
受付締切 2022年4月21日（木）

今年2月にゴミ処理施設「グリーンパーク茂原」で火災が発生し、宇都宮市はゴミ焼却能力の約7割を喪失しました。今まさに、燃えるゴミの大幅な削減が必要とされています。そこで宇都宮大学に通う私たちができることを話し合いませんか？大学内での実施、市への提案を見据えて目の前の問題を考えてよう！

主催：Free!!!（学生団体）
協力：宇都宮大学環境センター

twitter Instagram



なかのじょう探検隊

イベントの概要

群馬県中之条町で東京都北区と中之条町の小学6年生を対象とした森林体験学習プログラムをNPO法人中之条コネクトや中之条町と共に計画・実施した。林業に触れてもらうこと・中之条町を知ってもらうことをテーマに自己肯定感を上げるためのプログラムにした。

参加者の感想

木が多くて空気がきれいできもちよかった。川が近くにあり、川の音など自然を感じられてよかった。木工体験が楽しかった。電ノコで切るのが楽しかった。



東京の友達と交流できたのとみんな楽しく過ごせたのがとても楽しかった。

高齢者スマホ教室の開催

イベントの概要

陽東コミュニティセンターにて、高齢者スマホ教室を実施。
20名の方が参加してくださり、2時間いっぱいスマホの使い方についてお伝えしてきました。

参加者の声

- ・LINEの使い方を知れて良かった！これから孫と連絡するときに使っていきたい
- ・スマホと使えるようになったみたいで嬉しかった。また参加したい！



高校生の探究支援

プロジェクト内容

宇都宮中央高校の探究授業に関わり、高校生の思考の質の向上高校生と大学生の交流の創出を目的として活動している。

支援内容

- ・題材発見
- ・スケジュール管理
- ・プレゼンテーションの方法
- ・情報整理
- ・調べ方の方法

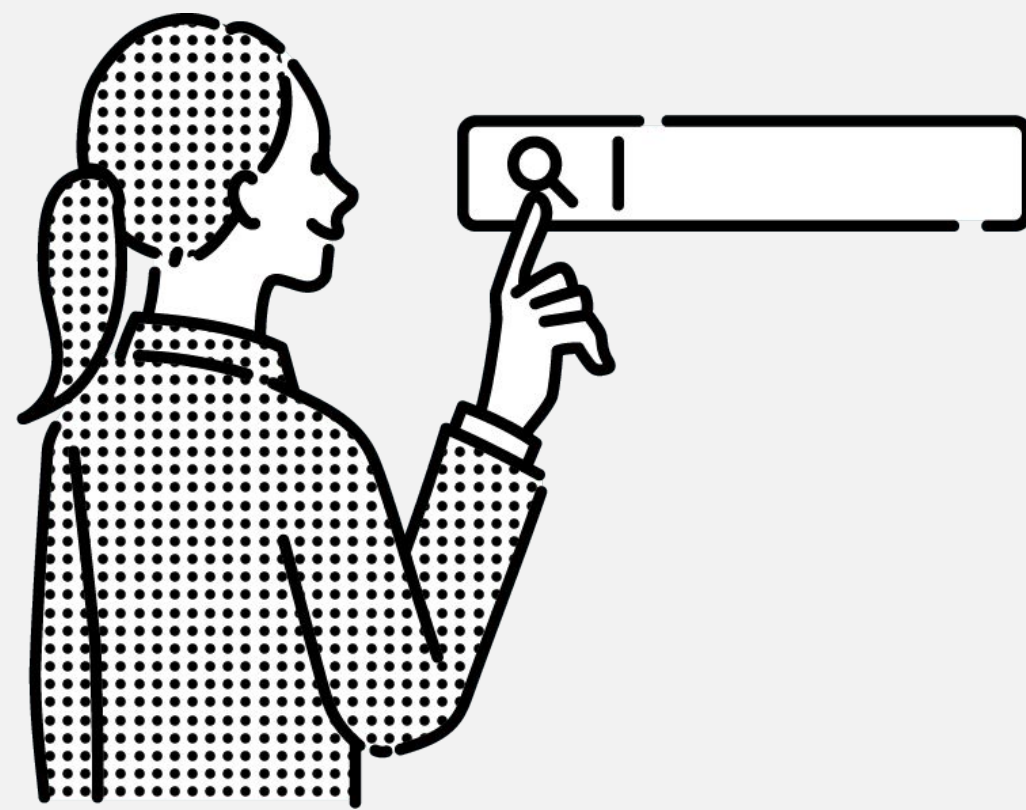


⑥広報

あしかもメディア

若者と、栃木のヒト・コト・モノ・シゴトを繋いでいく総合地域メディアであるあしかもメディアに取り上げていただきました！Free!!!!のコアメンバーそれぞれの活動への思いが紹介されています。

あしかもメディアの気になるニュースに掲載されているので、是非ご覧ください！



気になるニュース

頭で考えるだけで終わらせず、“実行に移せる居場所”をつくる。分野やテーマに囚われない自由な団体『学生団体Free!!!!』

📅 2022.09.17 | 吉田 梨央

SNS関連

メール: freediversity2021@gmail.com



Instagram



フォローお願いします!!



Twitter